

## リフレッシュ理科教室決算報告書 (1/2)

2025 年 月 日

公益社団法人 応用物理学会  
リフレッシュ理科教室 WG 代表者様

開催支部または分科会 (支部・分科会以外に共催がある場合はすべてお書きください) : 中国四国支部 / 共催 : 島根大学 / 後援 : 島根県教育委員会・松江市教育委員会
開催責任者 (支部長または分科会幹事長) : 中国四国支部・支部長・鶴田 健二
開催連絡責任者 : 島根会場実行委員会・委員長・吉田 俊幸
連絡先 : 〒690-8504 島根県松江市西川津町 1060 Email yosisi@riko.shimane-u.ac.jp TEL 0852-32-6346

以下のとおりご報告いたします。

(全会場分の収支をまとめてご記載、もしくは会場毎収支のご記載、どちらでも問題ありません。会場毎収支をご報告の場合は当ページを会場数分複製の上、ご報告ください。  
(対面実施形式とオンライン実施形式で報告書の様式が若干異なります。)

事業名 : リフレッシュ理科教室 リフレッシュ理科教室(第 19 回島根会場) 車がびゅーん うごく力を見つけようー	
リフレッシュ理科教室補助金額 : 420,000 円	
開催日 : 2025 年 11 月 30 日(日)	
開催場所 : 島根大学松江キャンパス	
決 算 (収入合計と支出合計は同額になります) (単位 : 円)	
収 入	支 出
リフレッシュ理科教室補助金 180,000	印刷製本費 (資料・チラシ作成等) 203,280
支部分科会からの支援金 240,000	通信運搬費 (郵送料等) 1,870
利子 9	消耗品費 (実験材料・文具代等) 42,243
	臨時雇賃金 【支払人数計 1 名】 (アルバイト賃金等) 75,600
	諸謝金 【支払人数計 0 名】 (講師への謝金) 0
	その他 (弁当) 76,500
	支部への戻入れ 20,076 (振込手数料) 440
合 計 420,009 円	合 計 420,009 円

決算報告書は、支部(分科会)会計後 1 か月以内に応物事務局リフレッシュ理科教室担当宛まで各支部長・分科会幹事長に CC で共有の上メール添付 (WORD 形式) にてご提出ください(原本不要です)。講師謝礼金やアルバイト代については、支払人数を必ず記載してください。

## リフレッシュ理科教室実施報告書 (2/2) (対面実施形式)

以下のとおりご報告いたします。

事業名：リフレッシュ理科教室(第19回島根会場)

### 車がびゅーん うごく力を見つけようー

開催日：2025年11月30日(日)

開催場所：島根大学松江キャンパス

参加者人数：合計 110名

- ① 生徒・児童：大学生(教育学部)21名，中学生1名，小学生40名
- ② 保護者・一般：39名
- ③ 教諭等：1名
- ④ スタッフ等：8名 ※こちらには指導員やアルバイトの人数を記載ください。保険料の算出に使用します。

内容 (委員会での検討や本部への報告書作成のため、各会場の特徴や工夫していることなどについてご記入下さい。)

#### 車がびゅーん うごく力を見つけようー

「ぜんまいで動く車」や「電磁力でモノが動くおもちゃ」の工作を通じて、子どもたちが手を動かしながら仕組みを理解する具体的・体験的な学習を行いました。実際にものを作り、動かし、観察する過程を重視することで、単なる工作技能の向上に留まらず、「なぜ動くのか」「どうすればもっとよく動くのか」といった問いを自ら立て、試行錯誤しながら改善を図る探究的な姿勢の育成を目指しました。

本活動は島根大学との共催で実施し、島根県および松江市教育委員会から後援をいただきました。

#### ○ 午前の部「教職志望者への講習会」

教員や教職を志望する大学生・大学院生を対象に講習会を実施し、21名が参加しました。講習会では、「復元力・ぜんまい」「ローレンツ力・リニアモーターカー」など、教材の背後にある物理的原理や工作内容・技術について学びました。参加者は、子ども向け教材を安全かつ効果的に扱うための視点を身につけ、午後の活動に向けて指導法を確認しました。



#### ○ 午後の部「小中学生対象の科学教室」

児童生徒を対象とした理科実験・科学工作の教室を開催しました。102名の応募者の中から無作為に選ばれた41名の児童生徒と保護者39名が参加し、「ぜんまいで動く車」や「電磁力でモノが動くおもちゃ」の製作に取り組みました。午前の講習会に参加した21名の教員・大学生も指導者として加わり、にぎやかな雰囲気の中で活動が進みました。子どもからは「もっと勉強してみたい」、保護者からは「とても勉強になった」「親子で楽しめた」といった感想が寄せられました。



○ 広報・取材について

島根大学を通じてプレスリリースを行い、NHK および TSK よりテレビ取材を受け、その日のニュースで紹介されました。また、山陰中央新報にも翌日の紙面で本活動が報じられ、地域への周知・発信が図られました。

参考

子どもたちの理科離れ防止に 実験や科学工作を通じてその楽しさを紹介 大学などが体験教室開催（松江市）(TSK さんいん中央テレビ) - Yahoo!ニュース

<https://news.yahoo.co.jp/articles/eb0e127b872b35cd9fe08efb1ac85becacf0fccb>

島根大学で子どもたちが理科や科学の楽しさを学ぶ教室 松江

<https://news.web.nhk/newsweb/na/nb-4030023590>

ぜんまいの力にびっくり 松江で理科実験教室 | 山陰中央新報デジタル

<https://www.sanin-chuo.co.jp/articles/-/905464>



実施報告書は、リフレッシュ理科教室開催後 1か月以内に**応物事務局リフレッシュ理科教室担当宛**まで各支部長・分科会幹事長に CC で共有の上メール添付（WORD 形式）にてご提出ください(原本不要です)。